

一般演題 (口演)

口演 1

10月7日(木) 10:40 ~ 11:40 第2会場(小ホール)

統合失調症 - 1

座長：坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室

O1-1

治療抵抗性統合失調症患者における γ -アミノ酪酸(GABA)神経系異常の探索

宮澤 惇宏 木更津病院 / 千葉大学医学部附属病院精神神経科 / 千葉大学社会精神保健教育研究センター / 東京大学医学部附属病院脳神経内科

O1-2

治療抵抗性統合失調症患者におけるクロザピンへの暴露と副作用との関連性についての包括的調査:母集団薬物動態研究

野村 信行 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 / 山梨県立北病院

O1-3

統合失調症死後脳研究におけるAMPA受容体:系統的レビュー

米澤 賢吾 慶應義塾大学医学部精神神経科 / 川崎市立川崎病院

O1-4

クロザピン治療におけるHLA-B*59:01遺伝子検査の費用対効果を用いた有用性の検討

二宮 光平 藤田医科大学病院

口演 2

10月7日(木) 10:40 ~ 11:40 第3会場(瑞雲)

統合失調症 - 2

座長：菅原 典夫 獨協医科大学精神神経医学講座

O2-1

クロザピンの低用量投与により、精神症状を悪化させることなく難治性の遅発性ジストニアを改善した1例

岡本 直通 産業医科大学精神医学教室 / 産業医科大学病院認知症センター

O2-2

クロザピン中止後転帰(システマティックレビュー)

三浦元太郎 大泉病院

O2-3

EGUIDEにおける治療抵抗性統合失調症の診断記載率とクロザピン処方率の関連性について

古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

O2-4

クロザピンの副作用出現に関与する因子の検討

藤本 一馬 順天堂大学医学部精神医学講座

口演 3

10月7日(木) 10:40 ~ 11:40 第4会場(平安)

統合失調症 - 3

座長：香月あすか 社会福祉法人 二丈福祉会

O3-1

クロザピンと虫垂炎

中島 望 山梨県立北病院

O3-2

統合失調症患者における肥満に対する栄養指導と体重変化

宮下 真子 新潟県立精神医療センター

O3-3 クロザピン内服患者における骨密度の変化と採血データ・臨床データの相関性の検討

川原 香織 順天堂大学医学部精神医学講座

O3-4 クロザピン投与における糖代謝、脂質代謝に影響を与えうる因子についての検討

杉田 智之 順天堂大学医学部精神医学講座

口演 4

10月7日(木) 10:40 ~ 11:40 第5会場(福寿)

統合失調症 - 4

座長：宮田 量治 山梨県立北病院 精神科

O4-1 非鎮静系抗精神病薬を主剤とした統合失調症治療における補助薬の重要性の検討
～特にAsenapineの有用性について～

森川 文淑 医療法人社団圭泉会旭川圭泉会病院

O4-2 ヘビースモーカーで便秘症を併発している統合失調症患者に対してasenapineが効果的
だった一例

井上 悟 浅井病院

O4-3 統合失調症急性期の薬物治療におけるアセナピン舌下錠の有用性

日野 亮真 草津病院精神科

O4-4 実臨床下の統合失調症患者におけるPaliperidoneLAIの有用性に関する後方視的研究

藤田 康孝 医療法人社団更生会草津病院

口演 5

10月7日(木) 10:40 ~ 11:40 第6会場(桃源)

統合失調症 - 5

座長：谷 英明 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

O5-1 LAI治療コンプライアンスと再発リスクに関する調査

田中 康平 地方独立行政法人山梨県立北病院

O5-2 抗精神病薬持効性注射剤施行時の「痛み」は、保冷剤で軽減できる

藤田 貢平 生生会松蔭病院 / 愛知医科大学病院精神神経科

O5-3 持効性注射剤と経口剤による抗精神病薬併用療法：後方視的カルテ調査及び処方態度に
関するアンケート調査

雨宮 亜美 山梨県立中央病院

O5-4 統合失調症患者における抗精神病薬持効性注射剤(LAI)による長期治療の効果に関わる検討

小暮 正信 千葉大学大学院医学研究院精神医学教室

□演 6

10月7日(木) 17:20 ~ 18:20 第2会場(小ホール)

病因・病態

座長：沼田 周助 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

O6-1 Restorative properties of the antipsychotic drug blonanserin in the chronic mild stress model
Marco A. Riva Department of Pharmacological and Biomolecular Sciences, University of Milan,
Milan, Italy / IRCCS Istituto Centro San Giovanni di Dio-Fatebenefratelli, Brescia, Italy

O6-2 Beneficial effects of chronic lurasidone treatment in the chronic mild stress model:
from molecular mechanisms to translational implications
Marco A. Riva Department of Pharmacological and Biomolecular Sciences, University of Milan,
Milan, Italy / IRCCS Istituto Centro San Giovanni di Dio-Fatebenefratelli, Brescia, Italy

O6-3 治療抵抗性統合失調症(TRS)とアルギニンバソプレシン(AVP)の相関性の検討
山崎 史暁 千葉大学大学院医学研究院精神医学教室

O6-4 統合失調症患者におけるアカシジア発症とレストレスレッグス遺伝子関連研究
橋本 佐 国際医療福祉大学医学部精神医学教室 / 千葉大学大学院医学研究院精神医学

□演 7

10月7日(木) 17:20 ~ 18:20 第3会場(瑞雲)

気分障害・不安症 - 1

座長：荒川 亮介 日本医科大学薬理学教室

O7-1 幼少期被虐待歴とうつ病治療経過の相関について
-Genotype Utility Needed for Depression Antidepressant Medication (GUNDAM) studyより-
船槻 紀也 関西医科大学精神神経科学講座

O7-2 「治療抵抗性うつ病に対するケタミン作用機序の探索：AMPA受容体PET研究」の研究プロト
コールの紹介
大谷 洋平 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

O7-3 疼痛を伴う老年期うつ病に電気けいれん療法が有効であった2例
渡辺 杏里 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

O7-4 大うつ病患者への抗うつ薬選択に、患者のパーソナリティは有用か？
内藤みなみ 関西医科大学精神神経科学講座

□演 8

10月7日(木) 17:20 ~ 18:20 第4会場(平安)

気分障害・不安症 - 2

座長：河野 仁彦 都城新生病院

O8-1 ルラシドン投与により夜間摂食症候群の改善を示した双極性障害の3例
藤山 寛之 八代更生病院

O8-2 気分障害に対する薬剤と身体疾患に対する薬剤の不適切な併用に関する横断的調査：
大規模レセプトデータ解析
彌富 泰佑 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

○8-3 実臨床における双極性障害外来患者の躁病エピソード予測因子

徳満 敬大 獨協医科大学精神神経医学講座

○8-4 長期通院中の不安症患者におけるSSRIと抗不安薬の経時的用量変化

森 啓輔 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター精神神経科

□演 9

10月7日(木) 17:20 ~ 18:20 第5会場(福寿)

睡眠障害

座長：戸田 裕之 防衛医科大学校 精神科学講座

○9-1 レンボレキサントによるベンゾジアゼピン系睡眠薬長期服用患者の減薬の可否及び背景要因の解析

藤田 雅也 医療法人社団優仁会鈴木神経科病院精神科

○9-2 入院患者における睡眠薬使用と転倒・転落発生に関する症例対照研究

森下 千尋 東京医科大学精神医学分野

○9-3 入院・施設環境下におけるレンボレキサントへの変薬における比較検討

沖野 和磨 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター / 昭和大学医学部精神医学講座

○9-4 ベンゾジアゼピン系薬物が長期使用されやすい患者プロフィール調査

山本 有沙 東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科

□演 10

10月7日(木) 17:20 ~ 18:20 第6会場(桃源)

その他

座長：越智紳一郎 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学

○10-1 口腔内慢性疼痛患者におけるデュロキセチンによる疼痛緩和と血小板セトロントランスポーターの発現減少の関与

中村真理子 名城大学大学院薬学研究科病態解析学I

○10-2 小胞モノアミントランスポーター2 (VMAT2) 阻害薬MT-5199の遅発性ジスキネジア患者を対象とした第2/3相臨床試験(J-KINECT試験)のTopline results

堀口 淳 島根大学

○10-3 ステロイド精神病におけるステロイドの種類と用量:後方視的診療録調査

尾久 守侑 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 / 国立病院機構下総精神医療センター

○10-4 成人期自閉スペクトラム症の中核障害・感覚処理困難に対するSafe and sound protocolの効果-探索的介入研究

河合 弘樹 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室